

笛吹市環境基本計画 平成27年度取り組み進捗状況

●：成果指標 目標への到達度を表す指標
 ○：取り組み指標 目標達成に向けた取り組みの進捗状況を表す指標
 △：モニタリング指標 継続的に数値をモニタリングし、状況の経年変化を把握する指標

進捗状況の見方(基準値と現状値の比較)
 ○ 数値が上がった
 ▲ 数値が下がった
 → 基準値維持
 空欄 H27数値なし

環境目標	環境要素	環境指標	単位	基準	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	現状(H27)	中間目標(H27)	進捗状況	備考(根拠数字、参考資料)	コメント	
豊かな自然を守り動植物と共生するまち	1-1 農地・果樹園	1 「農地や土との親しみやすさ」に満足している市民の割合	● %	59.1	—	—	—	—	—	65	未実施		地域農業振興事業、農地利用促進事業、地産地消推進事業など、農業経営の基盤強化や農業活動の支援を行っているが、原材料費の高騰の影響、従事者の高齢化などで農業を取り巻く環境は厳しさを増している。さらなる支援をしていきたい。	
		2 農用地面積	● ha	3,587	3,559	3,545	3,531	3,518.0	3,516.0	3,587	▲			
		3 耕作放棄地の面積	● ha	171	169	169	169	268	232	140	▲			
		4 農地パトロール実施回数	○ 回	1	1	1	1	1	1	2	→			
		5 新しく耕作を始めた人数、耕作希望者数	○ 人	38	3	39	40	41	36	40	▲			
		6 学校給食において地元農産物を使用する割合	○ %	12	13	13	14	14	15	15	○			
		7 バイオマス資源としての果樹剪定枝等の回収量	○ t	—	—	—	—	—	—	851			バイオマスセンター建設事業中止	農業委員、農地中間管理機構等と連携を図りながら、農地の遊休防止に努めていく。
		8 農業体験・交流イベント開催数	△ 回	2	4	2	1	0	0	—	▲			
		9 " 参加者数	△ 人	100	153	110	104	0	0	—	▲			
		10 農業学習会、セミナーの開催回数	△ 回	20	20	26	27	26	27	—	○			
		11 " 参加者数	△ 人	600	648	602	964	730	775	—	○			
		12 市民農園の面積	△ m ²	9,412	8,918	9,412	5,525	5,525	8,445	—	▲			
		13 エコファーマー認定者数	△ 人	1,873	1,765	1,762	2,669	2,700	2,251	—	○			
		14 認定農業者数	△ 人	526	517	550	628	710	833	—	○			
豊かな自然を守り動植物と共生するまち	1-2 森林	15 「木々の緑の豊かさ」に満足している市民の割合	● %	77.3	—	—	—	—	—	85	未実施		林野面積や民有林に関して適正な林地管理に努めていく。	
		16 林野面積	● ha	11,836	11,836	11,819	11,819	11,819	11,819	11,836	▲			
		17 林業体験の実施学校数	○ 校	9	0	0	0	0	0	10	▲			
		18 " 参加生徒数	○ 人	255	0	0	0	0	0	300	▲			
		19 森林体験の実施回数	△ 回	3	1	1	1	1	1	—	▲			
		20 " 参加者数	△ 人	200	150	150	120	110	120	—	▲			
		21 森林経営計画認定面積	△ ha	1,945.69	1,962.05	1,961.98	1,961.98	2,539.60	2,539.60	—	○			
		22 森林保全整備事業実施面積(累計)	△ ha	323	323	323	323	323	323	—	→			
		23 間伐面積(累計)	△ ha	233.61	276.58	280.58	280.58	282.83	282.83	—	○			
		24 植樹面積(累計)	△ ha	57.22	66.33	67.23	67.23	67.63	67.93	—	○			
豊かな自然を守り動植物と共生するまち	1-3 河川・水辺	25 林野面積のうち民有林面積	△ ha	7,380.92	7,380.92	7,035.85	7,035.85	7,035.85	7,035.85	—	▲			
		26 保安林面積(水源かん養保安林)	△ ha	5,942.18	5,942.18	6,189.00	6,189.00	6,189.00	6,189.00	—	○			
		27 「水や水辺との親しみやすさ」に満足している市民の割合	● %	40.2	—	—	—	—	—	45	未実施		近津用水の川面を照らすイルミネーションにより河川に親しめる空間を演出した。本市の恵まれた水環境を活かし、笛吹市かわまちづくり計画を推進していく。	
		28 多自然工法を導入した事業件数	○ 件	2	0	1	0	0	0	1	▲			
		29 アダプトプログラム登録団体数(水空間の整備)	○ 団体	3	3	3	3	2	3	5	→			
		30 " 登録人数	○ 人	77	91	56	93	92	98	97	○			
豊かな自然を守り動植物と共生するまち	1-4 動植物・生態系	31 河川の清掃活動実施回数	△ 回	2	4	4	4	4	4	—	○		河川の清掃は土手や河川内の雑草除去・伐木、ごみ拾いを行い河川美化に努めている。	
		32 " 参加人数	△ 人	200	661	734	696	623	663	—	○			
		33 特定外来種に関する広報回数	○ 回	0	0	0	0	1	1	1	○		笛吹川を中心に咲き誇っている特定外来種のオオキンケイギクを観光用に持ち帰る人がおり、住宅地周辺にも繁殖してきている。採取、植栽しないよう広報に掲載した。	
		34 鳥獣保護区の指定数	△ 箇所	2	2	2	2	2	2	—	→			
		35 " 面積	△ ha	15.49	15.49	15.49	15.49	15.49	15.49	—	→			
		36 自然環境保全地域の指定数	△ 箇所	4	4	4	4	4	4	—	→			
		37 " 面積	△ ha	30.63	30.63	30.63	30.63	30.63	30.63	—	→			
		38 動植物に関する天然記念物の件数(県)	△ 件	8	7	7	7	7	7	—	▲			
		39 " (市)	△ 件	35	35	35	33	33	32	—	▲			
		40 けがや病気の野生動物の保護件数	△ 件	6	4	7	1	3	4	—	○			
		41 野生動物の食害等による被害件数(苦情件数)	△ 件	27	12	35	33	30	37	—	▲			
		42 農作物被害防止に向けた有害鳥獣駆除実施回数	△ 回	27	9	35	33	30	37	—	▲			
		43 " 駆除数	△ 頭	627	615	875	826	948	843	—	▲			
		44 観察・発見された特定外来種の個体数	△ 頭	2	2	4	0	3	0	—	▲			

環境目標	環境要素	環境指標	単位	基準	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	現状(H27)	中間目標(H27)	進捗状況	備考(根拠数字、参考資料)	コメント
1-5 自然とのふれあい	45	「生き物とのふれあいやすさ」に満足している市民の割合	●	%	45.6	—	—	—	—	—	50	未実施	金川の森で自然観測会、芦川で自然体験教室を開催した。
	46	自然観察会等のイベント開催数	○	回	0	1	0	0	0	2	1	○	
2-1 大気環境	47	「空気のきれいさ(車の排気ガス、悪臭等)」に満足している市民の割合	●	%	58.1	—	—	—	—	—	63	未実施	廃プラスチック等の適正分別について、地区への指導を徹底していく。また広報誌での周知、各種イベントへの参加や店頭キャンペーンを行い周知徹底していきたい。
	48	廃プラスチック等の回収量	○	t	271	276	266	259	255	257	275	▲	
	49	廃プラスチック等の適正処理周知、指導回数	○	回	86	57	43	27	24	31	90	▲	
	50	大気汚染に係る測定結果(NOx年平均値)	△	ppm	0.022	0.010	0.012	0.018	0.017	0.016	—	○	
	51	“(SPM年平均値)”	△	mg/m ³	0.013	0.020	0.018	0.020	0.016	0.018	—	▲	
	52	畜産農家に対する悪臭の指導回数	△	回	1	1	1	1	0	1	—	→	野焼き、悪臭への苦情は原因者に適切な指導を行っていく。また広報周知などにより理解促進を図り苦情の減少に努めたい。
	53	工場・事務所における悪臭の指導回数	△	回	3	1	2	2	4	1	—	○	
	54	「野焼き」に関する苦情件数	△	件	63	34	52	58	62	39	—	○	
	55	「悪臭」に関する苦情件数	△	件	35	12	22	26	22	26	—	○	
	2-2 水・土壌環境	56	「水のきれいさ(河川・水路や池沼等)」に満足している市民の割合	●	%	34.2	—	—	—	—	—	42	未実施
57		笛吹川のBOD平均値(直近3カ年)	●	mg/l	1.03	0.93	1.30	1.31	1.30	1.00	1	○	
58		水質基準達成項目比率	●	%	84	86	73	79	89	85	88	○	
59		地下水に係る環境基準の達成地点の割合(井戸水)	●	%	85.4	87.3	92.8	85.5	89.7	86.2	90	○	27年度から下水道加入促進員を配置し、下水道への接続をお願いしている。
60		生活排水処理率	○	%	70.5	70.7	71.5	74.3	75.2	74.3	76.4	○	
61		公共下水道処理人口	○	人	41,440	42,011	42,311	43,167	44,480	44,627	44,440	○	
62		公共下水道処理人口普及率	○	%	58	59	59	61	62.8	63.2	65	○	
63		合併浄化槽設置済人口	○	人	7,831	8,419	8,690	9,296	8,389	8,432	9,931	○	
64		農業集落排水処理人口	○	人	515	473	443	416	406	389	510	▲	芦川集落排水人口減少によるため
65		生活道路・水路の整備に関する市民満足度	△	%	55.7	50.4	47.1	45.6	—	—	—	未実施	
66	地下水に係る環境基準の達成地点の割合(上水道用)	△	%	100	100	100	100	100	100	—	→		
67	広報紙による啓発	△	回	4	4	4	4	2	1	—	▲		
68	工場や事業者に対する指導回数	△	回/年	7	5	4	11	18	6	—	○		
2-3 廃棄物	69	「日常生活から発生する、ごみの処理のされ方」に満足している市民の割合	●	%	51.4	—	—	—	—	—	53	未実施	平成29年4月の甲府・峡東クリーンセンターの開設に伴い、有料指定ごみ袋の導入を行うことにより、ごみの減量を推進していく。
	70	1人1日当たりのごみ排出量(生活系ごみ)	●	g/人・日	667.5	666.3	669.7	663.8	667.6	664.3	600	○	
	71	“(事業系ごみ)”	●	g/人・日	315.7	292.9	287.2	284.9	302.4	309.8	300	○	
	72	ごみ総排出量	●	t	25,849	25,229	25,052	24,630	25,047	25,099	25,000	○	転入してきた住民に対しごみ収集カレンダーを配布し分別指導を行っている。
	73	生活系可燃ごみの減量率(対基準年度:H16年度)	●	%	29	28	28	30	30	30	53	○	
	74	リサイクル率	●	%	21	21	20	19	19	19	25	▲	
	75	容器包装廃棄物分別収集量	●	t	271	276	266	259	255	257	275	▲	一般廃棄物の処理業者については市が許可を出しており、2年に1度の更新時に指導を行っている。また、年に数回意見交換会を行っている。
	76	古紙分別収集量(新聞・雑誌・ダンボール・ミックス紙)	●	t	2,912	2,641	2,079	1,946	1,848	1,691	2,950	▲	廃食油は、一般家庭や市立保育所、学校給食調理場等から回収し一部のゴミ収集車のバイオディーゼル燃料として利用している。BDF燃料の需要が落ちているため、精製料の調整を行った。今後は他の活用方法も検討していきたい。
	77	資源物の混入量(可燃)	●	t	7,755	7,274	6,868	7,635	7,765	6,526	7,700	○	
	78	“(不燃)”	●	t	1,290	993	745	714	638	520	1,200	○	
	79	「買い物の際のレジ袋利用抑制」にいつも取り組んでいる市民の割合	○	%	85	85	84	84	84	84	88	▲	
	80	資源物回収奨励金登録団体数	○	団体	132	132	132	132	132	132	135	→	
	81	資源物回収奨励金登録団体の資源物回収量	○	kg	3,076,639	2,725,607	2,687,217	2,528,204	2,930,747	2,797,303	3,138,172	▲	
	82	生ごみ処理機購入助成件数	○	件	196	95	103	54	84	51	200	▲	
	83	一般廃棄物許可業者説明会開催数	○	回	0	0	0	0	0	0	3	→	
	84	廃食油回収量(市で回収したもの)	○	ℓ	12,255	18,133	16,679	11,089	17,328	13,345	12,700	○	
	85	廃食油からの年間バイオディーゼル燃料(BDF)精製量	○	ℓ	9,300	9,400	12,000	11,000	5,200	2,000	11,400	▲	
	86	ごみ減量化・資源化の意識啓発イベント開催回数	○	回	86	57	43	27	24	31	90	▲	
	87	廃棄物処理施設・現場見学会開催回数	○	回	0	1	0	0	0	0	1	→	
	88	“ ” 参加人数	○	人	0	9	0	0	0	0	20	→	
	89	ごみ収集カレンダー配布数(累計)	△	枚	31,000	35,000	37,000	39,000	40,000	41,000	—	○	

健康で安らぎのあるまち

環境目標	環境要素	環境指標	単位	基準	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	現状(H27)	中間目標(H27)	進捗状況	備考(根拠数字、参考資料)	コメント				
2-4 身近な生活環境		90 「まちの静けさ(騒音や振動)」に満足している市民の割合	●	%	60.5	—	—	—	—	—	67		未実施	平穏な暮らしの維持ができるよう原因者には適切な指導を行っていく。			
		91 騒音測定における環境基準の達成地点の割合	●	%	92.3	93.7	98.1	99.3	98.7	97.8	96	○					
		92 「騒音・振動」に関する苦情件数	△	件	14	9	25	10	15	12	—	○					
		93 工場や深夜営業店舗等に対する指導回数	△	回/年	5	0	1	1	2	4	—	○					
3-1 公園・緑地		94 市民一人当たりの緑地面積	●	m ²	8.6	8.6	8.6	8.8	8.9	9.6	8.85	○		リニアの見える丘・花鳥山一本杉公園の整備により市民一人当たりの緑地面積が増加した。 公共施設における緑のカーテンは、庁舎、小中学校、保育所等で実施し、緑化促進と夏の節電対策に取り組んでいる。毎日の水やりが負担となるため、水やりを減らしても育成できる品種を模索したい。			
		95 公園・緑地数	●	箇所	19	19	19	19	19	20	20	○					
		96 都市公園数	●	箇所	6	6	6	7	7	7	7	○					
		97 校庭芝生化に取り組む学校数	○	校	0	0	0	0	0	0	10	→					
		98 公共施設における緑のカーテン実施数	○	箇所	3	41	41	38	31	32	22	○					
		99 身近に自然とふれあうことができている市民の割合	△	%	70.7	69.7	73.4	68.3	—	—	—		未実施				
		100 公園を利用している市民の割合(H22～)	△	%	35.9	38.6	39.1	38.9	—	—	—		未実施				
		101 都市公園面積	△	ha	37.25	37.25	37.25	38.68	37.25	37.25	—	→					
		3-2 歴史 文化的環境		102 市の文化遺産や地域の文化に触れたことがある市民の割合	●	%	43.9	22.7	55.0	45.2	—	—	44				市の文化遺産や地域の文化に触れ合える機会を増やすため、パンフレットなどの印刷物はもちろんのこと、実物を自分の目で見てもらうため、文化財めぐり・古道めぐりや現地説明会を積極的に開催していく。 『甲斐国分寺跡こどもガイドブック』、古道を歩こう『御幸道』、『篤道』などを作成した。
				103 文化財を活用したイベントの開催数	○	回	3	3	8	4	7	6	3		○		
				104 " 参加者数	○	人	230	250	232	684	510	712	280		○		
				105 文化施設(郷土館等)を活用した企画展・特別展・イベント参加者数	○	人	7,635	3,315	7,700	5,892	6,958	7,388	5,200		▲		
106 " 開催数	△			回	8	8	8	8	12	22	—	○					
107 伝統芸能継承団体数	△			団体	11	11	11	11	11	11	—	→					
3-3 郷土景観		108 登録文化財数	△	件	3	3	4	4	4	4	—	○					
		109 指定文化財数	△	件	218	216	215	213	213	211	—	▲					
		110 うち国指定文化財数	△	件	15	15	12	12	13	13	—	▲					
		111 うち県指定文化財数	△	件	66	65	64	64	63	63	—	▲					
		112 うち市指定文化財数	△	件	138	139	139	137	137	135	—	▲					
3-4 まち美化、暮らしのマナー・モラル		113 「木々の緑の豊かさ」に満足している市民の割合	●	%	77.3	—	—	—	—	—	85		未実施	不法投棄対策として市内巡回し監視パトロールを実施しているため不法投棄の処理件数は減少傾向にあるが、広報誌やチラシ、環境教育を通じて更なるモラル向上に努めていきたい。 また、粗大ごみで回収しない家電対象製品やタイヤ・バッテリーの不法投棄を未然防止するため特別回収を行っている。 空き地に繁茂した雑草に関する苦情は増加傾向にあるため、土地所有者に適正管理を行ってもらうよう指導していく。			
		114 電線類地中化の整備延長	△	m	2,779.3	2,779.3	2,779.3	3,702.5	3,702.5	3,702.5	—	○					
		115 「まちの清潔さ・きれいさ・ごみの散乱など」に満足している市民の割合	●	%	40.7	—	—	—	—	—	—	45			未実施		
		116 公害や不法投棄がなく衛生的に生活できると答えた市民の割合	●	%	49.3	48.8	49.4	51.7	—	—	—	55			未実施		
		117 アダプトプログラム登録団体数(水空間の整備含む)	○	団体	19	17	14	12	11	12	20	▲					
		118 " 登録人数	○	人	581	507	398	418	414	416	700	▲					
		119 清掃活動の参加者数	○	人	1,830	1,890	1,840	1,850	1,830	1,850	2,000	○					
		120 意識啓発イベントの開催回数	○	回	86	57	43	27	24	31	90	▲					
		121 " 参加者数	○	人	2,650	1,629	1,390	800	700	900	2,700	▲					
		122 花の苗配布団体数	○	団体	61	65	65	63	73	73	85	○					
		123 パトロール実施日数	△	日	240	240	240	240	240	240	—	→					
		124 不法投棄の発見報告件数	△	件	290	456	217	184	187	173	—	○					
125 不法投棄物処理件数	△	件	287	441	208	176	182	151	—	○							
126 「不法投棄」に関する苦情件数	△	件	18	3	3	7	14	7	—	○							
127 「空き地や耕作放棄地の雑草」に関する苦情件数	△	件	46	61	68	64	73	90	—	▲							
128 空地等の管理人に対する指導件数	△	回	39	59	65	61	56	86	—	▲							
129 啓発看板の配布件数	△	件	35	122	120	147	92	89	—	▲							
4-1 地球温暖化		130 市営バスの利用者数	●	人	28,668	29,500	27,051	26,617	23,788	23,627	30,101	▲		デマンド交通ではふじみルートで、「なごみの湯」などへの乗り入れを開始した。 石和温泉駅の南北自由通路の開通により駅北側からのアクセスが可能となった。また、エレベーターなどのバリアフリー施設を設置した。 公共交通を利用し、生活サービスやコミュニティが維持されるようなまちづくりを進めていきたい。 電気自動車は㈱日産自動車より1台無償借り受けしたことにより3台となった。 今後は燃料電池自動車など次世代車も積極的に導入していきたい。			
		131 住宅用太陽光発電システム補助金交付件数(累計)	○	件	253	806	1,248	1,522	1,732	1,857	553	○					
		132 環境家計簿提出件数	○	件	47	13	23	44	30	73	52	○					
		133 LED照明導入小中学校数	○	校	0	0	0	0	3	6	10	○					
		134 デマンド交通の利用者数	○	人	3,600	3,600	5,058	6,887	6,784	7,798	8,940	○					
		135 公用車へのエコカーの導入台数	○	台	42	59	71	90	109	122	67	○					
		136 環境学習の一環として簡易測定を実施している小中学校数	○	校	6	6	7	8	9	10	10	○					
		137 幹線道路網が整備され移動しやすいまちだと感じている市民の割合	△	%	54.3	45.5	44.3	41.5	—	—	—		未実施				
		138 鉄道やバスが利用しやすいまちだと感じている市民の割合	△	%	19.9	15.8	12.5	14.6	—	—	—		未実施				
		139 JR石和温泉駅1日当り乗・降者数	△	人	5,338	5,176	5,132	5,596	5,570	5,692	—	○					
		140 一宮・御坂インターチェンジ1日当り乗・降台数	△	台	8,300	8,500	8,490	8,591	8,071	8,253	—	▲					
141 地球温暖化対策に関わるキャンペーン実施回数	△	回	1	1	1	1	1	1	—	→							

環境目標	環境要素	環境指標	単位	基準	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	現状(H27)	中間目標(H27)	進捗状況	備考 (根拠数字、参考資料)	コメント
自ら動き環境保全に取り組むまちづくり	5-1 環境教育・環境学習	142 「学校や地域社会における環境教育の質・量」に満足している市民の割合	●	%	43.4	—	—	—	—	—	46	未実施	環境教室を希望した小学校3校において「やまなしエコティーチャー」による移動環境教室を開催した。 市民まつりではエコ工作、ごみの分別説明を行い、親子で楽しみながら環境について学習できる場を設けた。 学校及び市立図書館での環境関連図書については図書購入計画の中で進めていきたい。 毎月広報誌に「環境NEWS」欄を設け情報発信しているが環境保全への意識向上を図るため更に内容を充実していきたい。 笛吹をみがこうプロジェクトを5回実施し、清掃活動を行った。 エコアクション21を導入したことにより、職員一丸となり、さらに環境保全に取り組んでいく。
		143 みどりの少年少女隊組織数	●	団体	9	8	8	9	9	9	10	→	
		144 環境学習イベント開催数(子ども環境教室、環境ポスター展)	○	回	2	7	6	6	6	7	4	○	
		145 やまなしエコティーチャーによる出前講座開催小中学校数(累計)	○	校	2	1	3	6	9	12	10	○	
		146 環境年次報告書の公表回数	○	回	0	0	1	1	1	1	1	○	
	147 環境関連図書数(学校)	○	冊	3,521	3,521	3,521	3,521	3,521	3,521	3,540	→		
	148 " (市立)	△	冊	2,125	2,067	2,087	2,106	2,153	2,141	—	○		
	149 河川環境および林業体験実施回数	△	回	3	0	1	1	1	1	—	▲		
	150 「エコ活動に取り組んでいる」市民の割合	●	%	82.4	78.3	77.6	77.2	—	—	85	未実施		
	151 環境に関する広報特集記事数	○	件/年	0	1	0	1	0	0	1	→		
	152 環境に取り組む個人・団体等の活動を紹介した広報記事数	○	件/年	9	10	13	6	4	3	10	▲		
	153 環境保全に関するNPO法人数	○	団体	2	3	4	5	5	5	7	○		
	154 市が主催する、各主体の交流イベント開催数	△	回	2	2	2	2	5	5	—	○		
	155 市役所におけるグリーン購入物品数(ボールペン・シャープペン)	△	%	100	100	100	100	100	100	100	→		
	156 (ファイル)	△	%	100	100	100	100	100	100	100	→		
157 (コピー用紙(白))	△	%	100	100	100	100	100	100	100	→			

平成27年度は……

環境指標を、①数値が上がったもの、②数値が下がったもの、③基準値維持、④事情により数値なしの4種類に区分けしたところ、下記の結果になりました。数値が上がった指標は、65項目(41%)となりました。中間目標に到達した指標は75項目中27項目でした。

①	○	進捗状況	平成27年度		平成26年度	
			項目数	割合	項目数	割合
①	○	数値が上がった	65	41%	57	36%
②	▲	数値が下がった	48	31%	54	34%
③	→	基準値維持	24	15%	26	17%
④	空欄	数値なし	20	13%	20	13%
合計			157	100%	157	100%